



南側には約1.8×7.3mのデッキ。壁際には、この冬の薪がたっぷりと用意されていた

暮らしやすさを考えた 照明プランが大切です

静岡県袋井市 赤堀大地邸

写真●則直 泰
Photo by Yasushi Norinao
平面図●長岡伸行
floor plan by Nobuyuki Nagaoka

「ログ壁を積んでからでは配線の穴を開けることはできないため、あらかじめ照明の位置を決めておかなければならなかったようだ。」

「どこにどれくらいどの明るさの照明をつけたいのか悩んでしまいました」と赤堀さん。とくにログ壁に直接取り付ける照明の位置を決めるのが難しかったようだ。

「ログ壁を積んでからでは配線の穴を開けることはできないため、あらかじめ照明の位置を決めておかなければならなかったようだ。」

「どこにどれくらいどの明るさの照明をつけたいのか悩んでしまいました」と赤堀さん。とくにログ壁に直接取り付ける照明の位置を決めるのが難しかったようだ。

「ログ壁を積んでからでは配線の穴を開けることはできないため、あらかじめ照明の位置を決めておかなければならなかったようだ。」

「ログ壁を積んでからでは配線の穴を開けることはできないため、あらかじめ照明の位置を決めておかなければならなかったようだ。」

左から大地さん、長男の心宇（こう）くん、二男の礼旺（れお）くん、奥様の晶子さん





カネ勾配の大屋根が安定感あるログハウス。塗装は赤堀さんが自分の手で行っている。塗料はシッケンズ

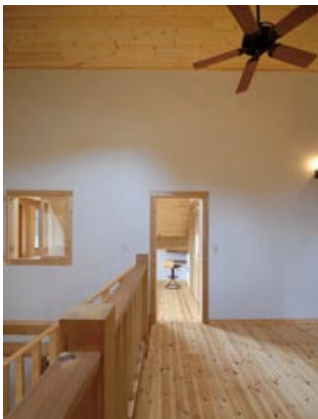


南西側にある和室。ウエスタン・レッドシーダー特有の深みのある色合いが、畳とよく似合っている。ログ材は13.8×18cmと大型

延べ床面積は約120㎡。間仕切りの少ないシンプルな間取りで、50㎡弱のリビング・ダイニングの向こうに9㎡ほどのキッチン。さらにその奥には3㎡ほどの広い食品庫もある



リビング・ダイニングの上は吹き抜け。解放感があってとても気持ちがいい空間になっている



木の壁ばかりでは室内が暗くなるからと、1階の天井、2階の壁と天井は白い塗り壁にしている



ヨツールの薪ストーブの前でくつろぐご家族。二男の礼旺くんは、この10月に生まれたばかりだ

ればなりません。でも、図面だけでは実際にできてからの様子がイメージしにくく、取り付ける高さを決めるのにも迷ってしまっ……。まあ、電気屋さんやメーカーさんをお願いすればよかっただけなんです(笑)」と赤堀さんはいう。

奥様の晶子さんは、「明るさも必要」と話す。以前、お子さんの目にゴミが入ってしまったとき、照明の下にいても暗くてよく見え、困ったことがあるのだそう。

「もう、うちには明るいところはないうの〜って思っていました(笑)少し暗いくらいが雰囲気があったいいんですが、実際の生活を考えると、一カ所でもっと明るい場所をつくるべきだったかもしれない」なるほど、照明ひとつでも難しいもの。完成してからのことをよく考えたプランが必要なのだ。



洗面やキッチンもウエスタン・レッドシーダーで手づくり。上に見える照明が、設置する位置で悩んだというもの

洗面所とサニタリールーム（写真左側）、キッチンは、ぐるりと一周できるようになっている。行き来がしやすく便利



ウエスタン・レッドシーダーにこだわった赤堀さん。この木を扱うメーカーを探し、わざわざ福島のメーカーに依頼した

間仕切りが少ないオープンな間取り。風通しがとてもいいそうだ。マシンカットにしたのは、丸太のままだと赤みのある芯材の色が見えないからなのだという

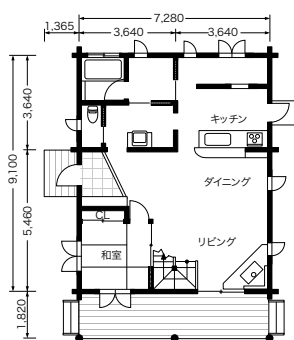


玄関ドアも手づくりのもの。この塗装も赤堀さんが自分でやっている。重厚感ある仕上がりが見事！

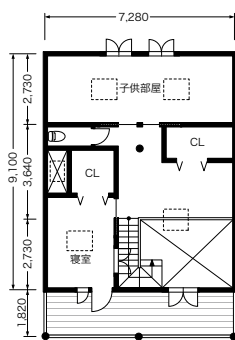




多めの開口と白い天井のおかげで、室内はとても明るい。ゆるやかなカーブを描くアーチカットも、マシンカットらしからぬデザインで美しい



2F



1F

●使用目的=住宅●所在地=静岡県袋井市●敷地面積= 409.8㎡●延べ床面積= 122.0㎡ [1階= 66.3㎡、2階= 55.7㎡/デッキ、ベランダ= 26.5.0㎡] ●着工日= 2009年 3月●完成日= 2009年 7月●構法=丸太組み構法(スクエアノッチ) ●使用ログ材=ウエスタン・レッドシーダー(サイズ= 13.8 × 18.0cm) ●基礎=ベタ基礎●外部仕上げ[屋根材=ガルバリウム鋼板/建具=木製ドア、木製ペアガラス・サッシ/塗料=シッケンズセトル(2回塗り)] ●内部仕上げ[天井材・床材=バイン/無塗装] ●総工費= 2843万円・税込/仮設工事費= 114万円、基礎工事費= 153万円、ログ材料費= 1200万円、組み上げ・大工工事費= 380万円、屋根・板金工事費= 131万円、左官・塗装工事費= 59万円、設備工事費= 293万円、その他= 513万円●設計・輸入・施行=㈱グリーンライフ

**ログハウスづくりの
秘訣教えます**



グリーンライフ
長谷川真兎さん

「完成してからは見えない部分も確認しておきたいですね」

長持ちするログハウスを建てるためには、断熱の施工や土台の素材、基礎など、完成してしまってからでは見えにくい部分もチェックしておきたいですね。例えば、この赤堀邸では、断熱はすき間ができない吹き付け式断熱を採用。土台には耐久性が極めて高いイエローシーダーを使っています。また、基礎の高さ50cm以上、幅も18cmと、標準的な仕様より高く、厚くしています。それは、こうした細かなこだわりの積み重ねが、耐久性が高いログハウスをつくるために大切なことだと考えているからです。